

京都市では、各施設の運営がどのようになっているか、税金がどのように使われているかを市民の皆さまに分かりやすくお伝えする取組を行っています。

京都市動物園の運営について

京都市動物園は、市民の皆様の寄付金と市費によって明治36年4月に開園した全国で2番目の歴史ある動物園であり、市民の皆様の手によって創設された我が国で初めての動物園です。

本園の運営は、以下にお示しするとおり、ご来園の皆さまからいただく入園料のほか、市民の皆様に納めていただく税金等によって支えられています。

入園料については、平成22年4月から100円を上乗せし、動物園の施設整備や大規模な修繕事業等の財源として活用しております。

本園は、今後も「近くて楽しい動物園」として、更なるサービスの向上や効率的な運営に努めてまいりますので、皆様の一層の御来園をお願いいたします。

京都市動物園の収入と支出

<料金体系と入場者数>

有料の方：大人620円、団体等520円、年間入園券（一般）2,510円

無料の方：中学生以下の方、市内在住の70歳以上の方、身体障害者手帳等をお持ちの方
令和元年度の入場者数 772,980人（うち有料368,621人、無料404,359人）

総額 6.9 億円

<支出>

利用者 1 人当たりの運営経費 890円 (A)

運営経費 370円	職員人件費 520円
--------------	---------------

<収入>

利用者 1 人当たりの
収入 370円 (B)

総額 2.9 億円

総額 4.0 億円

寄付金等 50円 (6%)	入園料 320円 (36%)	(A) - (B) <u>差額 520円 (58%)</u> <u>市民の税金で負担 (公費で負担)</u>
---------------------	----------------------	--

有料の方と無料の方を含む利用者 1 人当たりの額です

いずれも概数
10円単位で四捨五入

- 公費負担がない場合の単純な試算を行うと、入園料は現在の 2.4 倍の額（例えば、大人料金 620 円→1500 円）が必要となります。
- 動物園を利用しない方も含めた市民の負担（公費負担）により、現在の入園料で動物園が運営されています。

施設の運営費は、利用者の負担（施設使用料等）と公費負担（市民の皆様に納めていただく税金）などにより賄われています。

施設運営の現状について「見える化」を進め、施設の状況に応じた収支改善の取組（維持管理コストの見直し、施設の目的を踏まえた稼働率の向上、受益者負担の適正化等）を進めてまいります。